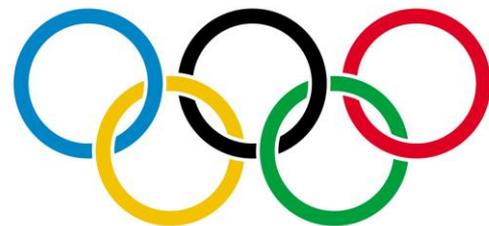


# 2020東京オリンピック パブリックビューイング

C グループ



# 色々な国の人たちは日本に集まる！



受け身ではなく、  
積極的に世界中の人たちと交流しよう。



## Why?

- 日本の文化が世界から固定されて見られている
- 観光面以外のリアルな日本を再発見してもらおう
- 人と人の繋がりを一層深まる機会を作る



# HOW?

## 〈人びとが集まる場所を提供！！！！〉

狙い：言語の壁をスポーツの力で突破しよう！

→オリンピックという一大スポーツイベントにひとが集まる事によって  
交流が生まれる。

それにより文化の発信やPRも出来るのでは...

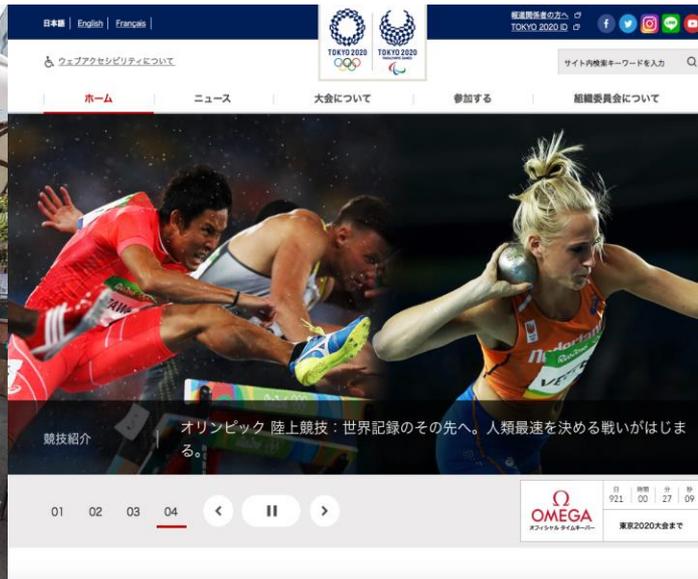
# WHAT?



パブリックビューイング  
+ VR



地元コラボ屋台

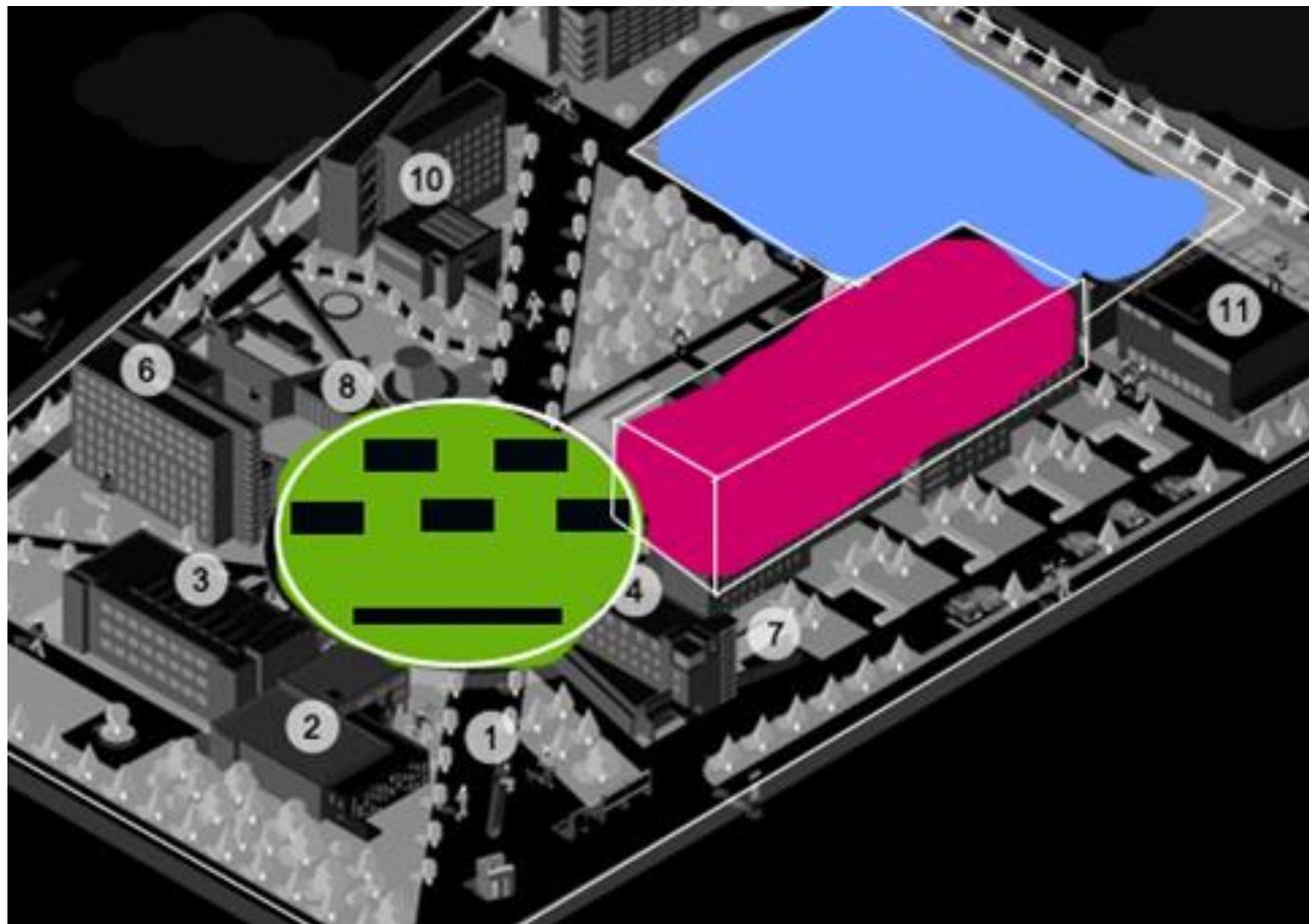


多言語ウェブサイト

# WHERE ?

多摩地区各大学

オリンピック期間の  
うち3日間





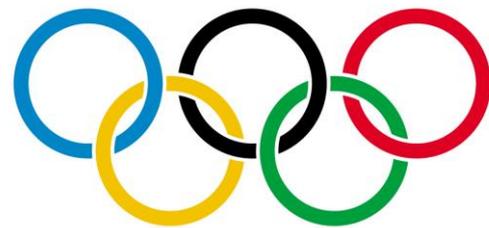
<<人と人の間の壁を突破する>>



# 背景・目的

- オリンピック自体に興味が少ない
- 外国人だけでなく国内の人もたくさん味スタを訪れる
- オリンピックを利用して盛り上がる（経済的な面、（文化）国際交流的な面）

パブリックビューイング



# パブリックビューイング

- ・ 概要

大学及びその周辺を会場とした**大学生主体**のパブリックビューイング

- ・ 目的

オリンピックに**気軽に**参加できる機会を提供し、

全ての関係者が**楽しめる**イベントを開催すること

- ・ 関係者

運営（大学生主体）、スポンサー企業、来場者

# ポイント

① 敵・味方関係なく試合を観戦する

→スポーツの力で言語の壁を越える

友好関係を築く



# ポイント

② パブリックビューイングを**1つのシステム**として管理する

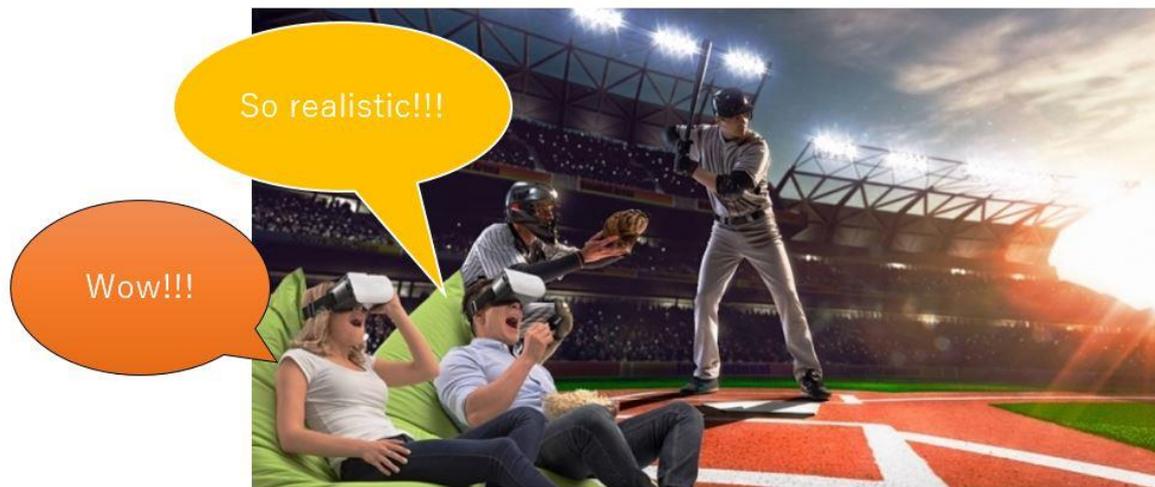
→例えば、東京外国語大学とその周辺では、、、



# ポイント

## ③ **臨場感**を感じることができる

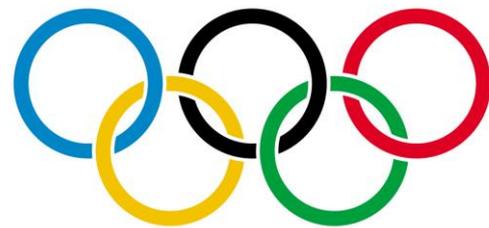
→ VRを利用することで、生で試合を観ているような感覚を味わえる



# 手段

- Public Viewing
  - 気軽にオリンピックにかかわれる
  - オリンピックに興味なくとも楽しめる
    - 体験ブース
    - 地産地消
    - Webサイト

地元コラボ





～地産地消の観点から～

——  
地元の農家やお店との  
コラボレーション

---

→会場に地産地消をテーマにした  
コーナーを設置

# なぜ“地元”とコラボするのか？

---

日本で起こっている問題

- ・ 食料自給率の低下
- ・ 地元民との交流が少ない

解決策

地産地消！！





地元の農家・お店とコラボすることで・・・  
地元の素晴らしい文化を発見できる！！

---

# 例 1 地産地消ショップ



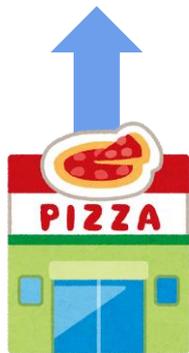
## 例 2 地産地消屋台



参加者



地産地消屋台



地元のレストラン



屋台で気になった材料があったら...



地産地消ショップで買える！

# 必要機能

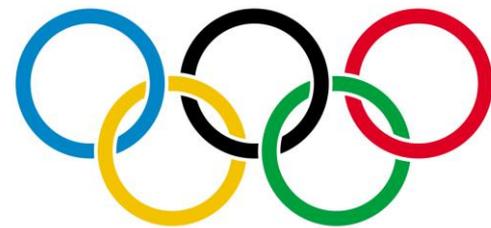
- PV
  - 会場の確保
  - 機材の確保
  - 放映権
  - 宣伝
  - スタッフ

- 競技体験ブース
  - 会場
  - スタッフ

- 地産地消
  - 食材
  - スタッフ
  - 商品

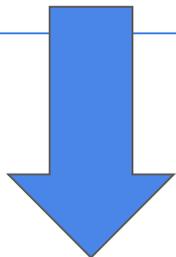
- Web site

Webサイト



# Web サイト

- ・ コンテンツが多くて情報の整理が必要
- ・ 他言語対応のためにガイドを用意するのは大変



## Web サイト

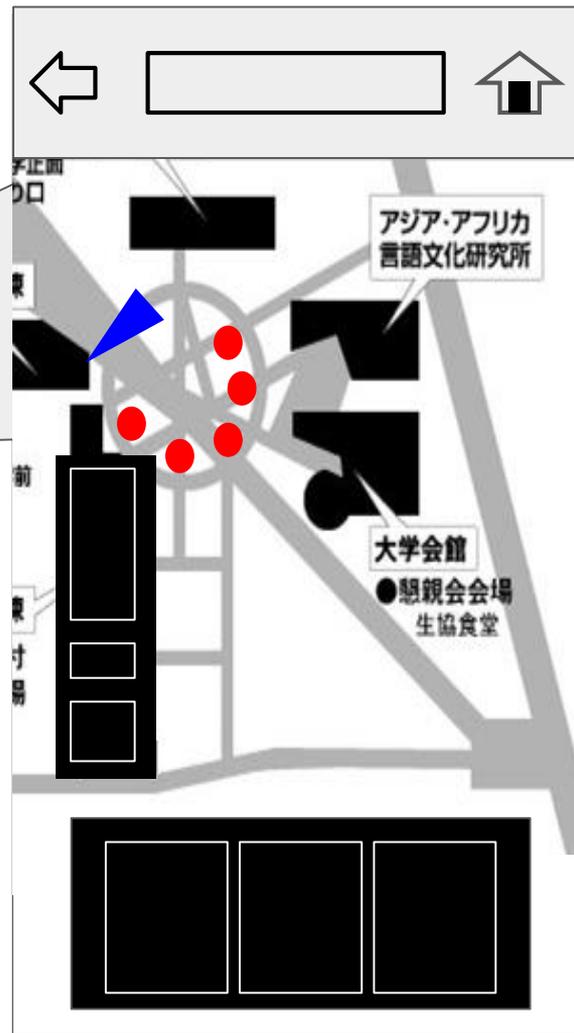
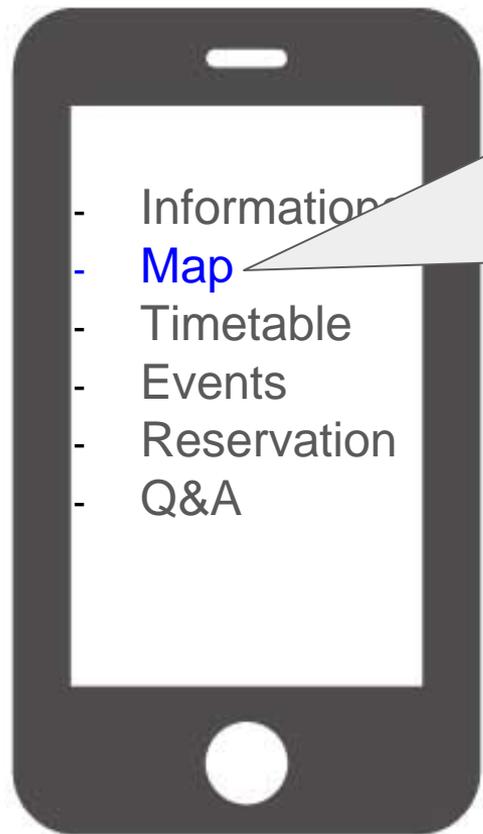
- コンテンツごとの整理ができる
- 翻訳機能などで他言語対応ができる



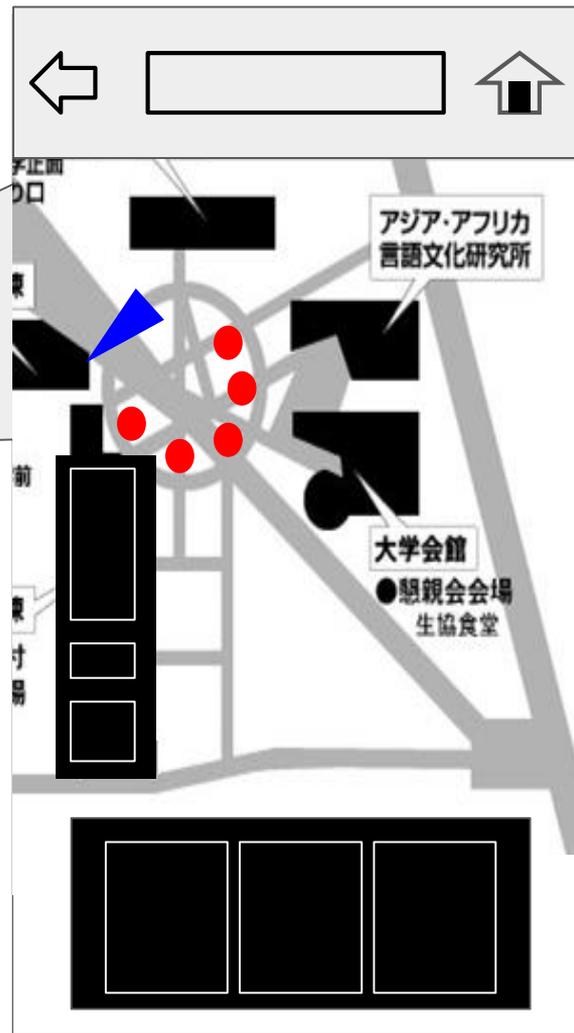
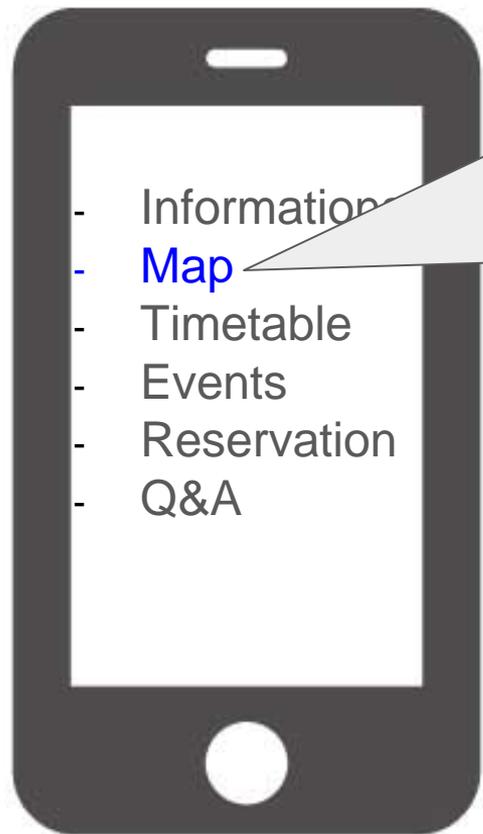
# Web サイト内容 (仮)

- Informations
  - 各イベントの協力者、スポンサー情報、店舗情報
- Map
  - 飛田給駅から外語大, 飛田給駅から武蔵の森公園への地図
  - 外語大内の店舗の場所の地図
- Timetable
  - 各競技の上映開始時間や会場
- Events
  - どのような競技が放送されるか
  - 体験ブースでできるスポーツの一覧
- Reservation
  - 体験ブースの事前予約
- Q&A
  - 質問

# 例 Map



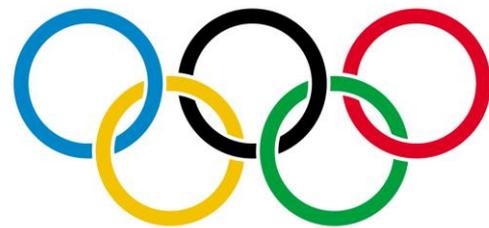
# 例 Map



# 実現方法

- PV
  - 会場の確保 → 各大学利用
  - 機材の確保 → 各大学・企業利用
  - 放映権 → 購買
  - 宣伝 → WEB SITE ・企業利用
  - スタッフ → ボランティア（大学生）
- 競技体験ブース
  - 会場 → 公園
  - スタッフ → ボランティア（大学生）
- 地産地消
  - 食材 → 地元農家
  - スタッフ → 地元のシェフ・大学生
  - 商品 → 地元農家・店舗
- Web site
  - 自作

まとめ



# なぜ学生が行うのか！！！！

## オリンピックを最大限学びの場を利用出来る！！！！

- ・ 国際交流の場になる！

→国際交流に関心がある学生は一定数いる。オリンピックというまたとない舞台を存分に活用！

- ・ イベントの運営に携わる！

→良い学びの場になるのではないか。経験としても二つとないものになるとおもわれる。

- ・ 時間的な余裕がある

# パブリックビューイング！！

一貫したイベントWEB・アプリ！！（多言語）

オリンピックを  
擬似再現した会場！  
VRなど臨場感溢れる！

+

地産地消！  
「食」から  
つながる地域

オリンピックに便乗して、  
つながりたい!!楽しみたい!!

運営の主体は**学生**！ 場所は**多摩地域**！ 会場は**大学**！

# 各関係者にとっての価値

## 来場者

- 気軽にオリンピックへ参加できる
- 外国人を含め、多種多様な人々との交流

## 企業

- 宣伝効果
- イメージアップ
- 地域とのつながり

## 運営・地元

- 地域の活性化
- 授業では得られない経験
- 思い出作り

ご清聴ありがとうございました！